

よかったね美穂ちゃん

(特別活動)

対象：中学生

本時案

1 本時の主眼

部落差別を乗り越えようとしてきた小林さん夫妻に共感した生徒が、小林さん夫妻の娘である美穂さんの気持ちを考えることを通して、自分は差別とどう向き合うべきか考えることができる。

2 本時の位置 2 時間扱いの第 2 時

前時…DVD「ドキュメンタリー結婚」(前半)を視聴し、小林夫妻の結婚差別を通して部落差別の事実について知った。

3 人権教育の視点

- 美穂さんがビデオ出演を決断した思いに迫り、部落差別の現状を理解する。(知識)
- 美穂さんの思いをもとに、自分が差別と向き合い差別をなくしていこうとする意欲態度を養う。(価値・態度)

4 指導上の留意点

- DVD (前半) は、前時に視聴しておき、小林夫妻の受けた部落差別の内容を把握しておく。
- DVD を見て、美穂さんの気持ちを考える際には、実際にインタビューで話した内容だけでなく、言葉にできない思いについても推量し、考えるようにする。
- 若宮さんの「よかったね美穂ちゃん」(朝日新聞)の資料を提示し、明るい展望をもって終えるようにする。

5 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	○教師の指導・援助 ◎人権教育の視点	時	備考
導 入 展 開	1 DVD (前半) の内容を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・小林夫妻って美穂さんの両親だった。 ・美穂さんの両親の受けた厳しい結婚差別を知った。 ・美穂さんのおじいさんは理解してくれていないのかな。 	○前半のあらすじや登場人物を確認しながら、小林夫妻に厳しい結婚差別があったことを一緒に確認する。	5	「ドキュメンタリー結婚」DVD (後半) 学習カード
	2 「ドキュメンタリー結婚」(後半)を視聴し、美穂さんの気持ちを考え合う。	<p>大人になった美穂さんは、どんな思いを伝えたくてビデオに出演したのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美穂さんは、前のビデオから大人になって、両親の気持ちやおじいさんの気持ちなど、いろいろ考えるようになったから、今思っていることをそのまま伝えたい。 ・自分の出身のことを真剣に考えていることを伝えたい。 ・ビデオに出て、自分の今の気持ちを理解してくれる人を増やしたい。 ・このビデオをおじいさんにも見てもらって、わかってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習カードに自分の感じたことや考えたことを書くよう促す。 ○数人発言後、ペアやグループで意見交換できるよう声掛けする。 ○美穂さんが堂々とビデオに出演したことは、部落差別と向き合う判断・決意をした姿であることを肯定的に受けとめ、共感できるようにする。 	30	

